

科目名		空間装飾実習			
担当教員		中川 雅之		実務授業の有無	有
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	授業形式	実習	時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	例えば、空間に椅子がひとつあるだけで、その空間には機能性と装飾性が付加される。この授業では、空間装飾のひとつの要素である椅子のデザイン・製作を通して、空間構成要素の最小単位（家具）についての理解を深めることを目的とする。世界の名作椅子（主にイギリスのウインザーチェアとアメリカのシェーカーチェアなど）をお手本にして、ツールもしくは椅子の製作を行う。一定の様式から着想するデザインの方法論を学ぶことも狙いである。				
学習目標（到達目標）	自分でデザイン・製作してみる。その体験を通し、ディテールの蓄積がモノを構成し、モノの蓄積が空間を構成していることを理解する。本来はその先に、空間の装飾というものが存在する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布プリント等				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	ウインザー／シェーカーの基本構造・「用の美」			構造とデザインの関係を理解し、「用の美」について学ぶ。	
2	北欧の椅子と「リ・デザイン」の有用性			現代の北欧の椅子などが、ウインザーやシェーカーの椅子をお手本にし成立していることを理解し、「リ・デザイン」という方法論を学ぶ。	
3	基本設計・ボリュームの検討			リ・デザインの対象となる各自のお気に入りの椅子を、本やインターネット等から探し出し、それをもとに各自の製作する椅子の基本設計を行う。	
4	詳細図・原寸図			基本設計等で難解な場合は、詳細図および原寸図を作成する。	
5	製作			段取りを追いながら、安全優先で製作を行う。自身の設計と製作スキルとの乖離を自認できるとよい。	
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	図面	作品	安全理解	デザインの読み解き方を知ると、身の回りの物に対する見方が変わります。楽しみながらインテリアデザインについて学びましょう。	
30 %	30 %	30 %	10 %		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		家具製作・デザインの実務経験15年			